

交付運用報告書

この冊子を読むことでファンドの運用成績を確認できます。
受益者のみなさまの投資判断の一助として是非ご活用ください。

コアバランス

追加型投信／内外／資産複合

第5期末（2018年5月14日）	
基準価額	10,836円
純資産総額	11百万円
騰落率 (上昇率・下落率)	+3.1%
分配金合計	0円

第5期（決算日：2018年5月14日）

作成対象期間

（2017年5月13日～2018年5月14日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、各マザーファンドを通じて日本を含む世界各国の株式、公社債および短期金融資産に実質的に投資を行い、各マザーファンドへの投資比率は世界の景気動向や市場の変動などに応じて適宜変更しています。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧およびダウンロード方法>

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書（全体版）を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
(受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第5期：2017/5/13～2018/5/14)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ3.1%の上昇となりました。



第5期首：10,511円
 第5期末：10,836円
 (既払分配金 0円)
 騰落率：3.1%

・当ファンドは、日本を含む世界各国の株式、公社債および短期金融資産を実質的な主要投資対象とし、利子・配当等収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

主として、内外株式市況の上昇が基準価額のプラス要因になりました。

1万口当たりの費用明細

(2017年5月13日～2018年5月14日)

i 記載された金額は、期間中にファンドを介して受益者のみなさまが間接的にご負担いただいた費用です。


項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	152円	1.411%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	(70)	(0.651)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(76)	(0.706)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(6)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.002	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株式)	(0)	(0.001)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.002)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	14	0.127	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.027)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	(10)	(0.097)	信託事務の処理等に要するその他諸費用(配当にかかる現地徴収税等)
合計	166	1.542	
期中の平均基準価額は、10,801円です。			

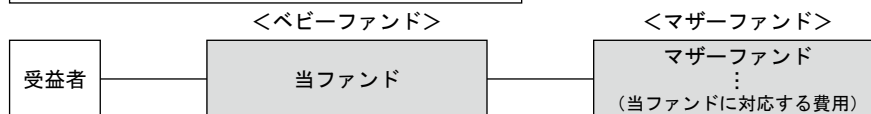
(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

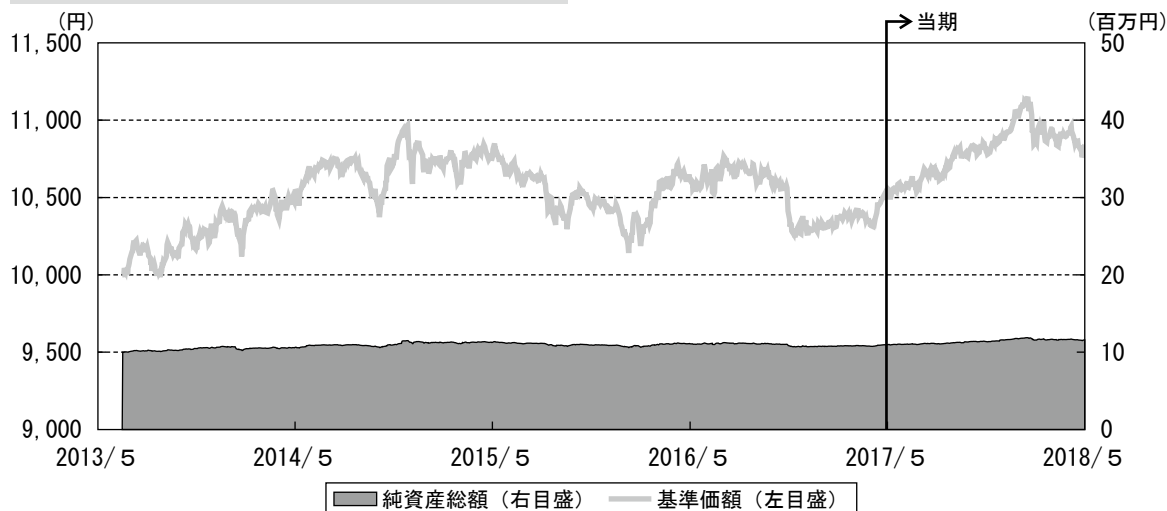
【費用開示の仕組み】

下記  部分の費用が費用明細に含まれています。



最近5年間の基準価額等の推移について

(2013年5月14日～2018年5月14日)



最近5年間の年間騰落率

	—	2014/5/12 期初	2015/5/12 決算日	2016/5/12 決算日	2017/5/12 決算日	2018/5/14 決算日
基準価額 (円)	—	10,474	10,740	10,649	10,511	10,836
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	—	0	0	0	0
基準価額騰落率	—	—	2.5%	-0.8%	-1.3%	3.1%
純資産総額 (百万円)	—	10	11	11	10	11

・騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

当ファンドは、日本を含む世界各国の株式、公社債および短期金融資産を実質的な主要投資対象とし、利子・配当等収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について

(第5期：2017/5/13～2018/5/14)

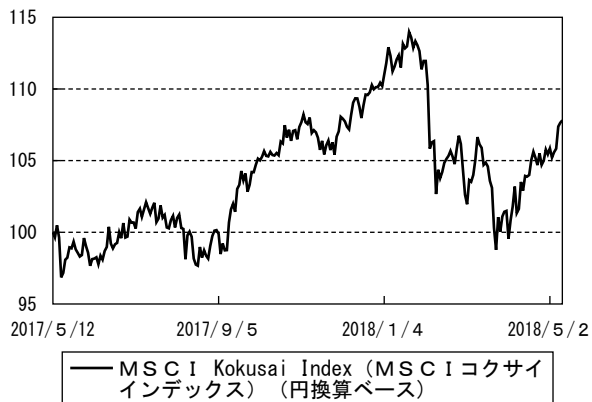
市況の推移
(期首を100として指数化)

◎国内株式市況

- ・期首から2018年1月中旬までは、国内の衆議院選挙で与党が勝利したことによる経済政策継続への期待や、国内企業の業績改善が進んだこと等を受けて、国内株式市況は上昇しました。
- ・1月下旬から期末にかけては、米国長期金利上昇による世界的な株安や、円高・米ドル安が進んだこと等を受け、国内株式市況は下落しました。

- ・東証株価指数 (TOPIX) とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

市況の推移 (期首を100として指数化)



◎外国株式市況

- ・米国の堅調な企業決算内容や税制改革などが好感され、外国株式市況は上昇しました。

- ・ MSCI Kokusai Index (MSCI Kokusai Index) とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCI Kokusai Index (円換算ベース) は、MSCI Kokusai Index (米ドルベース) をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI Kokusai Index に対する著作権及びその他知的財産権はすべて MSCI Inc. に帰属します。

市況の推移 (期首を100として指数化)

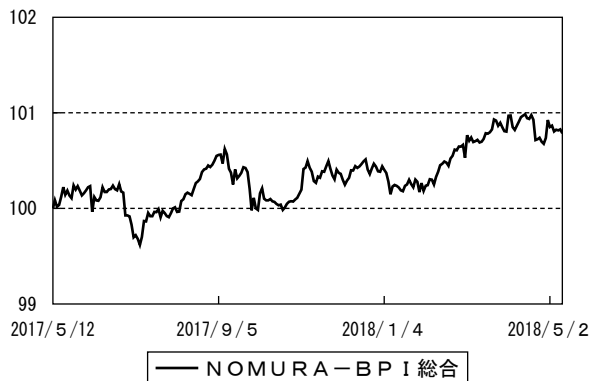


◎新興国株式市況

- ・原油価格の上昇や世界的な株式市況の上昇などを受けて、新興国株式市況は上昇しました。

・MSCI エマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCI エマージング・マーケット・インデックス (円換算ベース) は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (米ドルベース) をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

市況の推移 (期首を100として指数化)

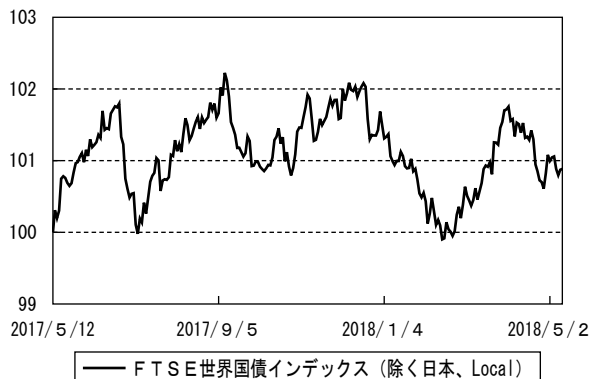


- ・ NOMURA-BPI 総合とは、野村証券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI 総合は野村証券株式会社の知的財産であり、ファンドの運用成果に関し、野村証券株式会社は一切関係ありません。

◎国内債券市況

- ・ 日本銀行による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の継続などを背景に、国内債券市況は上昇しました。

市況の推移 (期首を100として指数化)

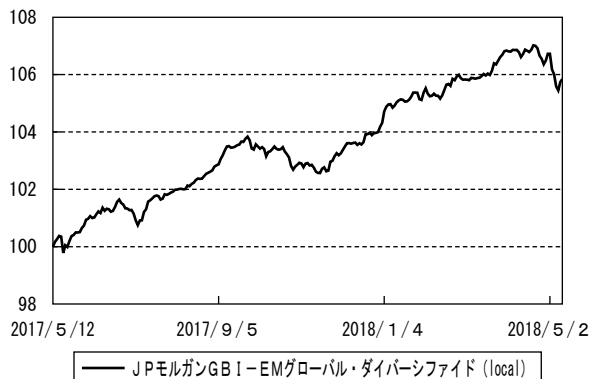


- ・ FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っていません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

◎外国債券市況

- ・ 先進国の債券市況は、利金が相応に積みあがったことなどから上昇しました。

市況の推移 (期首を100として指数化)

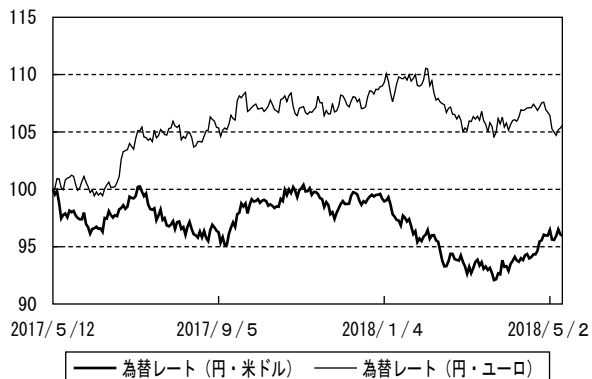


- ・ JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

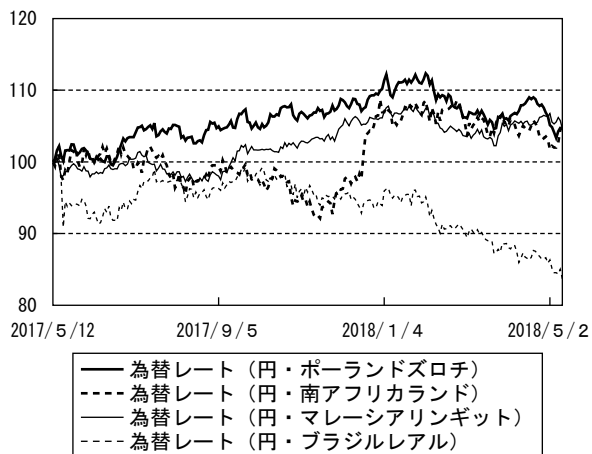
◎新興国債券市況

- ・ 新興国の現地通貨建て債券市況は、利金が相応に積みあがったことなどから、期首に比べて上昇しました。

為替市況の推移
(期首を100として指数化)



為替市況の推移
(期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・円・米ドル相場は、期の後半にかけて欧米長期金利の上昇を嫌気したリスク回避姿勢の高まりなどから米ドルが対円で売られました。期首との比較では、米ドルは対円で4.1%下落しました。
- ・円・ユーロ相場は、欧州中央銀行（ECB）が金融緩和政策を縮小することが意識されたことや欧州経済の回復期待などを背景にユーロが対円で買われました。期首との比較では、ユーロは対円で5.6%上昇しました。
- ・米国との関係悪化が懸念されたトルコリラなど多くの新興国通貨が対円で売られた一方で、欧州経済の回復期待などを背景に中東欧通貨は対円で上昇しました。
- ・為替市況は、期首に比べて4.7%の円安・ポーランドズロチ高、4.8%の円安・南アフリカランド高、4.6%の円安・マレーシアリングgit高、16.3%の円高・ブラジルリアル安となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

<コアバランス>

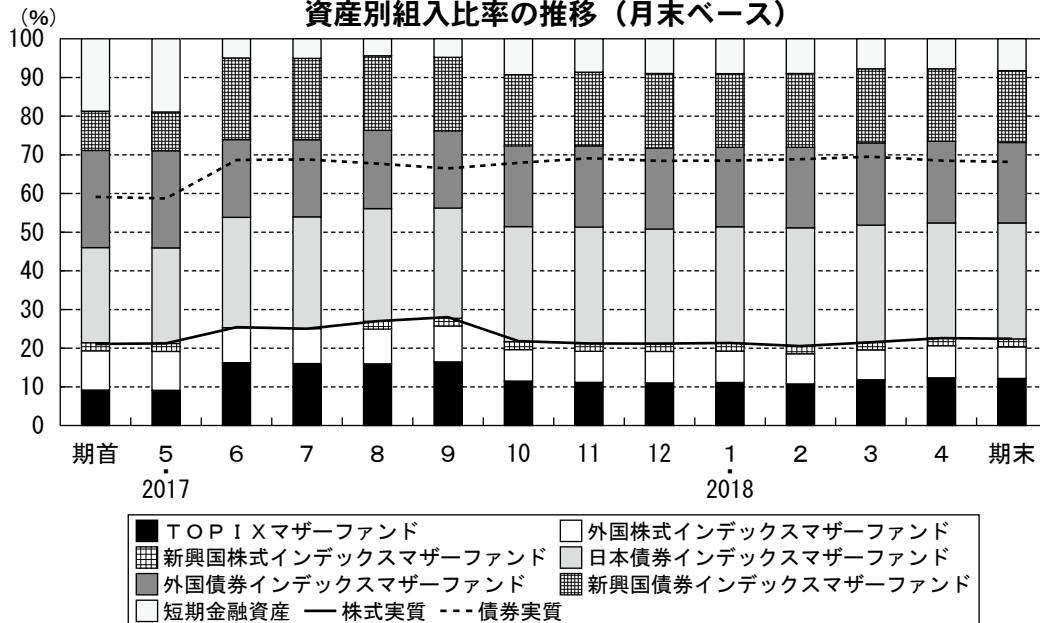
- ・主として景気動向と市場の変動をもとに「積極局面」、「中立局面」、「消極局面」に分け、判断した結果、期を通じて概ね積極局面となりました。

	局面判断
当期	積極

- ・当期の資産配分の推移は以下の通りです。

(ご参考)

資産別組入比率の推移 (月末ベース)



- ・各マザーファンドへの投資比率は、期の前半は世界的に実体経済が良好であることや、企業業績の好調を背景に国内株式の比率を高める運用を行いました。
- ・期の中盤から終盤は、世界経済が好調である一方、株式市況に過熱感が出始めていることなどから、国内・先進国株式の比率を引き下げました。
- ・また、先進国債券については、米国の利上げペース加速や、欧州の金融緩和縮小などを見込んで、期を通じて比率を抑える運用を行いました。

前記の様に機動的に投資比率の変更を行い、国内・先進国株式の比率を高位に維持したことなどから資産配分効果はプラスとなりました。

基準価額は、投資した各資産の市況動向の影響を受けました。
要因別の内訳は以下の通りです。

(内訳)

TOPIXマザーファンド	2.2%程度
外国株式インデックスマザーファンド	0.9%程度
新興国株式インデックスマザーファンド	0.2%程度
日本債券インデックスマザーファンド	0.2%程度
外国債券インデックスマザーファンド	0.3%程度
新興国債券インデックスマザーファンド	0.3%程度
為替取引要因	0.0%程度
その他(信託報酬等)	△1.0%程度

資産別騰落率および組入比率

		期中の 基準価額騰落率	期中の ベンチマーク騰落率	期末組入比率
国内株式	TOPIXマザーファンド	16.7%	14.2%	12.2%
先進国株式	外国株式インデックスマザーファンド	10.2%	7.8%	8.2%
新興国株式	新興国株式インデックスマザーファンド	14.0%	11.7%	2.0%
国内債券	日本債券インデックスマザーファンド	0.8%	0.8%	30.0%
先進国債券	外国債券インデックスマザーファンド	1.4%	1.4%	20.8%
新興国債券	新興国債券インデックスマザーファンド	1.0%	1.8%	18.6%

(注) 基準価額とベンチマークの騰落率は、各マザーファンドの実際のパフォーマンスであり、ベビーファンドで行う米ドル売り・円買いの為替取引は考慮しておりません。

(注) 期末組入比率は純資産総額に対する割合です。

<為替取引>

期を通じて、円高リスクやボラティリティ(市場変動性)の高まりを意識し、段階的に米ドル売り比率を高める運用を行いました。期を通じてみると、円高・米ドル安となる中で為替取引要因は0.0%程度となりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、日本を含む世界各国の株式、公社債および短期金融資産を実質的な主要投資対象とし、利子・配当等収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第5期
	2017年5月13日～2018年5月14日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,035

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

<コアバランス>

- ・各資産への配分比率は、引き続き各投資環境に応じた基本資産配分を基準に、各種経済指標等を勘案し決定します。
- ・投資環境は世界の景気動向と市場の変動等の状況に応じて、『積極、中立、消極』の3局面に分類しています。

お知らせ

i 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

◎約款変更

- ・当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。（変更前（旧）<http://www.am.mufg.jp/>→変更後（新）<https://www.am.mufg.jp/>）（2018年1月1日）

◎その他

- ・よりわかりやすい記載を目的として目論見書の特色の分配方針に「分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）」を掲載しました。
- ・本資料内における旧シティ債券インデックスは、ブランド変更に伴い、FTSE債券インデックスの名称に変更しています。
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

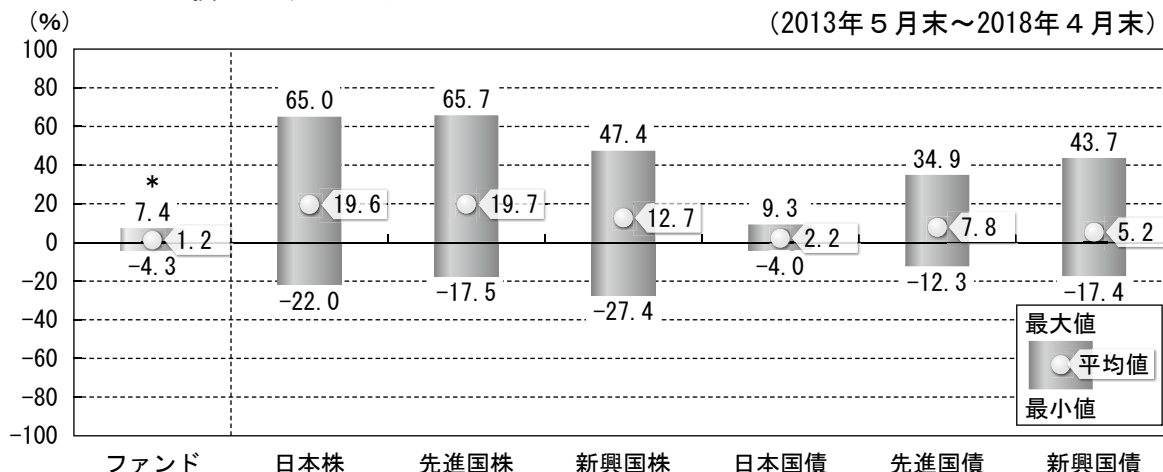
当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2023年5月12日まで（2013年7月1日設定）	
運用方針	各マザーファンド受益証券等への投資を通じて、利子・配当等収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。各マザーファンドへの投資比率は、世界の金利・株価動向と市場のリスク水準に応じて決定し、適宜変更します。実質組入外貨建資産については、その相当額について米ドル売り、円買いの為替取引を行うことを基本とします。ただし、円と米ドルの金利差が拡大するなどの局面においては、機動的に当該為替取引の額を変動させることがあります。	
主要投資対象	当ファンド	TOPIXマザーファンド受益証券、外国株式インデックスマザーファンド受益証券、新興国株式インデックスマザーファンド受益証券、日本債券インデックスマザーファンド受益証券、外国債券インデックスマザーファンド受益証券、新興国債券インデックスマザーファンド受益証券、マネー・マーケット・マザーファンド受益証券およびコール・ローン等の短期金融資産を主要投資対象とします。このほか、上場投資信託証券に直接投資することがあります。
	TOPIXマザーファンド	東京証券取引所第一部に上場されている株式を主要投資対象とします。
	外国株式インデックスマザーファンド	MSCI Kokusai Index (MSCI コクサイ インデックス) (円換算ベース) に採用されている株式を主要投資対象とします。
	新興国株式インデックスマザーファンド	新興国の株式等 (DR (預託証券) を含みます。) を主要投資対象とします。
	日本債券インデックスマザーファンド	NOMURA-BPI 総合に採用されている公社債を主要投資対象とします。
	外国債券インデックスマザーファンド	FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース) に採用されている国債を主要投資対象とします。
	新興国債券インデックスマザーファンド	新興国の現地通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
運用方法	日本を含む世界各国の株式、公社債および短期金融資産を実質的な主要投資対象とし、利子・配当等収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)	

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

i 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。

(2013年5月末～2018年4月末)



○上記は、2013年5月から2018年4月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

* ファンドについては2014年7月～2018年4月の同様の騰落率を表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株 : TOPIX (配当込み)

先進国株 : MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

新興国株 : MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

日本国債 : NOMURA-BPI (国債)

先進国債 : FTSE世界国債インデックス (除く日本)

新興国債 : JPMオルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2018年5月14日現在)

組入ファンド

(組入銘柄数：6銘柄)

ファンド名	第5期末 2018年5月14日
日本債券インデックスマザーファンド	30.0%
外国債券インデックスマザーファンド	20.8%
<input checked="" type="checkbox"/> 新興国債券インデックスマザーファンド	18.6%
TOPIXマザーファンド	12.2%
外国株式インデックスマザーファンド	8.2%
新興国株式インデックスマザーファンド	2.0%

- ・比率は当ファンドの純資産総額に対する各マザーファンドの評価額の割合です。
- ・上記のうち、上位3ファンドについては、「組入上位ファンドの概要」を後掲しています。

上記 の組入ファンドについて、後掲「組入上位ファンドの概要」の期間が当ファンドの期間と異なる点にご留意ください。

純資産等

項目	第5期末 2018年5月14日
純資産総額	11,580,148円
受益権口数	10,686,673口
1万口当たり基準価額	10,836円

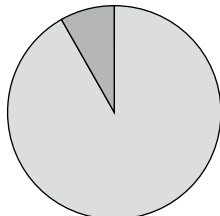
- ・当期中において追加設定元本は259,239円
同解約元本は 0円です。

種別構成等

【資産別配分】

コール・ローン等

8.2%

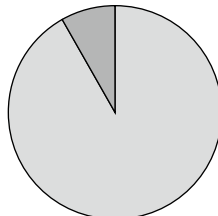


マザーファンド受益証券
91.8%

【国別配分】

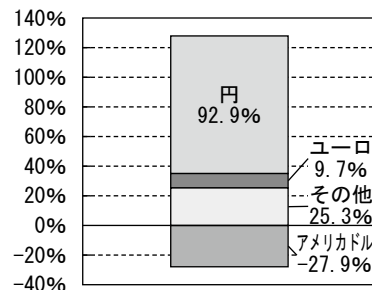
その他

8.2%



日本
91.8%

【通貨別配分】



- ・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。
- ・通貨別配分は当ファンドにおける実質的な通貨別比率を表します。

組入上位ファンドの概要

日本債券インデックスマザーファンド

(2018年5月14日現在)

基準価額の推移



組入上位10銘柄

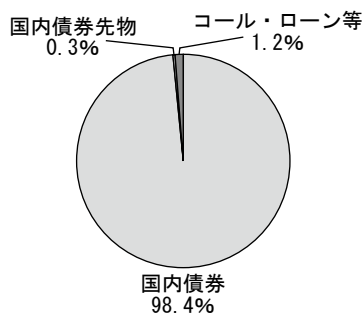
(組入銘柄数：913銘柄)

銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1 第329回利付国債(10年)	債券	日本	国債	1.5%
2 第312回利付国債(10年)	債券	日本	国債	1.3%
3 第386回利付国債(2年)	債券	日本	国債	1.2%
4 第385回利付国債(2年)	債券	日本	国債	1.1%
5 第134回利付国債(5年)	債券	日本	国債	1.1%
6 第319回利付国債(10年)	債券	日本	国債	1.1%
7 第332回利付国債(10年)	債券	日本	国債	1.0%
8 第345回利付国債(10年)	債券	日本	国債	0.9%
9 第339回利付国債(10年)	債券	日本	国債	0.9%
10 第133回利付国債(5年)	債券	日本	国債	0.9%

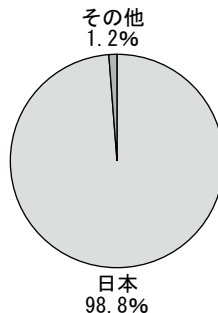
- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

種別構成等

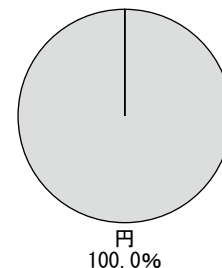
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	0円	0.000%
(先物・オプション)	(0)	(0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、13,222円です。

(2017年5月13日～2018年5月14日)

- (注) 1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

968374

組入上位ファンドの概要

外国債券インデックスマザーファンド

(2018年5月14日現在)

基準価額の推移



組入上位10銘柄

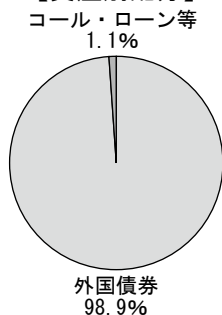
(組入銘柄数：740銘柄)

銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1 1.75 T-NOTE 220630	債券	アメリカ	国債	0.5%
2 2.25 T-NOTE 270215	債券	アメリカ	国債	0.5%
3 2 T-NOTE 261115	債券	アメリカ	国債	0.5%
4 1.625 T-NOTE 220831	債券	アメリカ	国債	0.4%
5 2.125 T-NOTE 250515	債券	アメリカ	国債	0.4%
6 1.5 T-NOTE 260815	債券	アメリカ	国債	0.4%
7 2.25 T-NOTE 241115	債券	アメリカ	国債	0.4%
8 5.75 O.A.T 321025	債券	フランス	国債	0.4%
9 4.25 O.A.T 231025	債券	フランス	国債	0.4%
10 2.75 T-NOTE 280215	債券	アメリカ	国債	0.4%

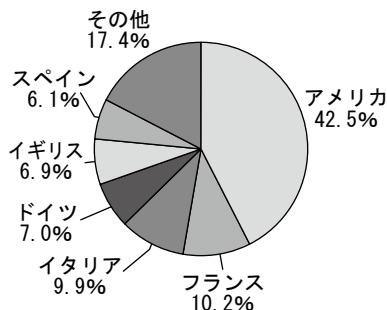
- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

種別構成等

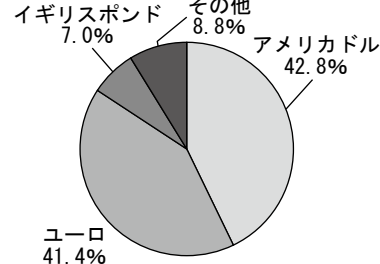
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	3円	0.015%
(保管費用)	(3)	(0.015)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	3	0.015

期中の平均基準価額は、20,381円です。

(2017年5月13日～2018年5月14日)

- (注) 1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

968394

組入上位ファンドの概要

新興国債券インデックスマザーファンド

基準価額の推移



(2018年1月26日現在)

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：186銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	BRAZIL-LTN 200701	債券	ブラジル	国債	3.0%
2	5.5 CHILE (GL) 200805	債券	チリ	国債	2.3%
3	10 (IN) BRAZIL NTN-F210101	債券	ブラジル	国債	2.1%
4	10 (IN) BRAZIL NTN-F230101	債券	ブラジル	国債	1.5%
5	10.5 SOUTH AFRICA 261221	債券	南アフリカ	国債	1.5%
6	10 MEXICAN BONDS 241205	債券	メキシコ	国債	1.4%
7	10 TITULOS DE TES 240724	債券	コロンビア	国債	1.2%
8	3.65 THAILAND 211217	債券	タイ	国債	1.1%
9	8 MEXICAN BONDS 200611	債券	メキシコ	国債	1.0%
10	10 (IN) BRAZIL NT 270101	債券	ブラジル	国債	1.0%

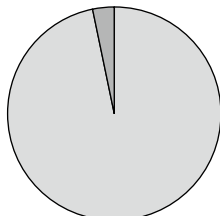
- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等

【資産別配分】

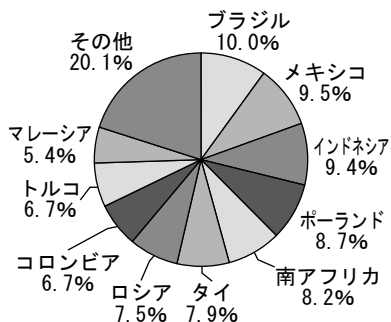
コール・ローン等

3.3%

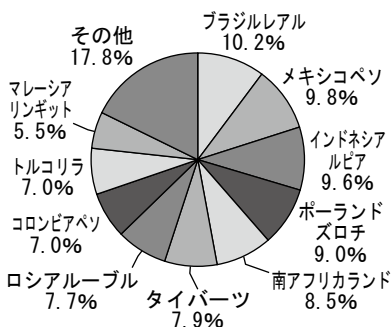


外国債券
96.7%

【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	15円	0.115%
(保管費用)	(14)	(0.105)
(その他)	(1)	(0.010)
合計	15	0.115

期中の平均基準価額は、13,495円です。

(2017年1月27日～2018年1月26日)

- (注) 1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

290512

指数に関して

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信